

国有林の広葉樹一般材を出品しました

(天童木材流通・加工センター見学会)

置賜森林管理署

令和5年12月14日、天童市の天童木材流通・加工センターにおいて、広葉樹材の市場を見学させていただきました。

この見学会は、令和5年10月19日に当署管内で開催した「広葉樹の採材検討会」において、検討会の参加者から、「どのように採材された広葉樹材が、どのように出展され、どれだけの価格で取引されているのかを実際に見てみたい」という意見が多く寄せられたことを受け、山形県森林組合連合会の御協力により実現しました。採材検討会に参加した関係機関・団体等にもお声がけしたところ、署職員を含め26名の参加者が集いました。また、この市場には「採材検討会」で採材した当署の広葉樹材も出品しています。



この日は、当センターで前日(13日)に行われた「広葉樹特選市」の翌日ということで、冒頭に山形県森林組合連合会の職員から入札結果や広葉樹材の販売状況などの情報をいただき、その後、実際に販売された広葉樹材を見ながら、採材寸法や販売価格、節や曲がり等の説明をしていただきました。

置賜森林管理署が出品した広葉樹材も含め、すべて高値で販売されたようです。特にブナ、オニグルミ、ホオノキなどは、多少の欠点があっても高値で取引されており、広葉樹材の需要は非常に高まっていると改めて感じました。



置賜森林管理署では、今後も、広葉樹の有効利用や有利販売に向けた採材方法など、検討会や研修会で情報発信し、地域に貢献していきます。